ブラジル朝日新聞
Politica japoneza de approximação ao Eixo
（舊日伯新聞）
伯國聖市マエストロ
カルチン街一一〇九
發行所
ブラジル朝日新聞社
本紙定價年六十ミル
外國郵税共百廿ミル

一万
マークと共に
古風れっこ
コロムビア

樞軸陣營を強化

全體主義國家結成へ
松岡外相の訪獨伊說
白鳥大使、近衛首相に進言

（東京三日TO）東日所報によると日本政府は獨伊樞軸と結んで强力な全體主義國家の政治的同盟を結成、それがため獨伊兩國と交渉開始の希望を持つてゐると云はれる、近衛內閣の聲明は世界新秩序の建設がその外交方策の的であることを明示したが、その第一歩として獨伊樞軸と近く交渉に入らうとするもので、これによつて世界を東亞ブロック、汎歐洲ブロックならびに汎米洲ブロックならびにソビエット・ブロックの四大ブロックに分立せしめて世界平和を確立せしめると同時に植民地再分割、資源の分配ならびに新通貨なども討議されようと見られてゐる

しかして日本としてはこれがためにとへ對米國關係が惡化しようとも獨伊樞軸と强力な政治的同盟を形成することゝならうと結んでゐる、また東朝も二日の近衛首相と白鳥前駐伊大使との會談をとり上げ近衛首相が白鳥大使と會見した意圖は獨伊との提携强化の可能性に付同大使の意見を徵したものと解せられるし、東日同樣日本は結局獨伊樞軸と交渉開始するだらうと觀測、日本は他國の批評など一切氣にせずこの際獨伊樞軸との提携强化によつてその外交政策を保障すべきだと述べてゐる白鳥大使は近衛首相との會談において松岡外相自ら伯林・羅馬を訪問、獨伊兩國政府と直接折衝すべきだと進言した模樣である、白鳥前駐伊、大島前駐獨兩大使は日獨伊樞軸同盟論者であり、ソ聯と不可侵條約を締結すべしと主張した使は近衛內閣の外交政策を支持し日本外交の方向をこゝに向はしめようとしてゐるものと信ぜられ、政界でも近衛首相はいよ〳〵積極的外交策に乘り出すものと觀測してゐる

つてゐるのでこの點は極めて簡單だ、參戰後も格別平常と變らない、これは平常から全國民がある統制組織のもとに生活してゐるせいであらうと思ふ、イタリーの公式プロの最後の一つであつた十一日のベニス市長の招待は辭退して再びローマに向つたが、ローマではその夜から三日にばかりつづけてビラ撒き空襲をうけた爆彈はおとさないで「イタリーの參戰は無駄でイタリーが靜かにしてさへをれば、君たちの要求は滿足されるんだ」といつたビラをさかんにバラ撒いた樣だつた、銃後の生活も此處は都會だらうが部落だらうが生活は平常と一寸も變ることろがなかつた、經濟協定締結の問題は交渉中途で參戰となつたが案外順調に進んで二十二日のチアノ外相と私との間で調印した、ローマでは歡迎攻めで非常に愉快であつた、街頭では車掌とか勞働者などでも右手を擧げてくれるし、これなどは日伊關係が成功に向つてゐる一つの證左として日伊國交の延長であると深く思つた

日伊提携頗る順調
車掌、勞働者まで友好的
佐藤使節團長の土產話

【東京五日同盟】訪伊經濟使節團長佐藤尙武大使は四日午後九時東京驛着、小林商相、大橋外務次官、インデリー、イタリー大使、パブスー、オランダ公使その他多數の出迎をうけて四ケ月振りに帰京、澁谷區千駄ケ谷の自宅に入つた、大使は戰時下のイタリー事情を左の如く語つた

五月十九日ローマに入り、六月二十日ベルリンに向つた、ムツソリーニ首相の參戰放送はベニス、サンマルコ廣場で聞いた、群集は來るべきものが來たと言つた顏つきだ落付いたスピーチを通してローマの觀呼の叫びは聞えたが、ベニスでは非常に冷靜であつた、チアノ外相の演說にも參戰を匂はせてゐたし、國民の決心は出來てゐたので、それと獨政治下の國民は指導者のひつぱるまゝについて行かうといふ心構えがきまつてゐるのでこの點は極めて簡單だ、參戰後も格別平常と變らない、これは平常から全國民がある統制組織のもとに生活してゐるせいであらうと思ふ、イタリーの公式プロの最後の一つであつた十一日のベニス市長の招待は辭退して再びローマに向つたが、ローマではその夜から三日にばかりつづけてビラ撒き空襲をうけた爆彈はおとさないで「イタリーの參戰は無駄でイタリーが靜かにしてさへをれば、君たちの要求は滿足されるんだ」といつたビラをさかんにバラ撒いた樣だつた、銃後の生活も此處は都會だらうが部落だらうが生活は平常と一寸も變ることろがなかつた、經濟協定締結の問題は交渉中途で參戰となつたが案外順調に進んで二十二日のチアノ外相と私との間で調印した、ローマでは歡迎攻めで非常に愉快であつた、街頭では車掌とか勞働者などでも右手を擧げてくれるし、これなどは日伊關係が成功に向つてゐる一つの證左として日伊國交の延長であると深く思つた

米內閣の改造
不承認主義色揚げ
スチムソン氏の再登場

スチムソン前國務長官が米國新聞陸相として返り咲いたのには、いかに奇を好む米國民でも驚きの眼をみはつた事であらう、昭和七年から八年にかけての滿洲事變に大見得を切つて苦情を持ち込みながら、相棒と恃んだ英國は肩すかしを食はされ「不承認」で行かうと呼ばはりで妨害しようとした滿洲國は隆昌の一路を辿り、政治家としてのスチムソンは既に落第のはずである、それが、しかも共和黨から民主黨へ乘り替へてまで米國內閣に再登場するといふのは、よく〳〵のことである

◇…米國政府としてはドイツの快勝による世界の新情勢に對して米國に邪合の惡いものは、すべて「不承認」で行かうといふ肚なのであらう、「不承認」主義」はスチムソン氏が本家本元である、國際的に米國の世間が、どれほど狹くならうとも構はずに、どこまでも「不承認」で行かうといふのはルーズヴエルト大統領長年の迷執なのであるが、この迷執をそもそも最初ルーズヴエルト大統領に賣り込んだのがスチムソン氏であつた

一九三三年一月九日のことである、フーヴアー大統領の任期は殘すところ僅か三ケ月で、米國の外交は、スチムソン主義を續けるか、棄てるかの一大岐路に立つてゐた、時のスチムソン氏と一緒になつて日本を相手にすることはないだらうなんて君等はどうして考へることが出來るのか」こんな亂暴な感情論でルーズヴエルト氏は當時スチムソン外交を支持したのであつた

◇…今度スチムソン氏の再登場をめぐる非難に對してル大統領が同樣の語調で答へてもいる

◇…ただこゝに皮肉なことは、スチムソン氏の對英觀だ、滿洲問題で時の英外相サイモン氏に局すかしを食はされたこと、支那變をめぐる米國の反日機運に働きかけて數次ニューヨーク・タイムスに公開書を寄せ極東干涉を主張し續け、近ごろは「對支侵略不協力委員會」の理事長になつてゐた、この團體は全米にはびこる反日請願團體の總元締ともいふべき機關で、幹部は主として支那に在住したことのある宣教師、教育者、海軍將官などで二頭立てでも手綱の捌きにぬかりはなからう、この曲藝でパンフレット、映畫、ラヂオ講演等あらゆる機會をとらへて活躍を續け資金も相當積立てゐる

◇…ただこゝに皮肉なことは大いに役立つかも知れないのだが、ルーズヴエルト氏、ルーズヴエルト氏、こんなことをいつて患意義を自重自賛し、今次の支言を蹴つた一僕の先祖が支那變をめぐる米國の反日機那君は知つてゐるだらう、運に働きかけて數次ニューヨーク・タイムスに公開書を寄僕は支那人に對して從來常せ極東干涉を主張し續け、に深い同情を寄せてゐたのごろは「對支侵略不協力委員で、僕がスチムソン氏と一會」の理事長になつてゐた、緒になつて日本を相手にす この團體は全米にはびこる反ることはないだらうなんて日請願團體の總元締ともいふべ君等はどうして考へることが出來るのか」こんな亂暴な感情論でルーズヴエルト氏は當時スチムソン外交を支持したのであつた

◇…今度スチムソン氏の再登場をめぐる非難に對してル大統領が同樣の語調で答へてもいる

◇…ただこゝに皮肉なことは、スチムソン氏の對英觀だ、滿洲問題で時の英外相サイモン氏に局すかしを食はされたこと、支那變をめぐる米國の反日機運に働きかけて數次ニューヨーク・タイムスに公開書を寄せ極東干涉を主張し續け、近ごろは「對支侵略不協力委員會」の理事長になつてゐた、この團體は全米にはびこる反日請願團體の總元締ともいふべき機關で、幹部は主として支那に在住したことのある宣教師、教育者、海軍將官などで二頭立てでも手綱の捌きにぬかりはなからう、この曲藝でパンフレット、映畫、ラヂオ講演等あらゆる機會をとらへて活躍を續け資金も相當積立てゐる

長談議

を行つた、この會談後旬日ならずして二人は別々に聲明を發し、スチムソン主義權威を再確言したのであつた、當時ルーズヴエルト氏を取卷いてゐたブレーン・トラスト連中はモーリー教授、タッグウエル教授はじめ躍起となつてルーズヴエルト氏に翻意を求めたが、ルーズヴエルト氏は「極東の危機」と題す

米內閣

に加はつたとすると今後米政府の對英方針に微妙な影響を與へるかも知れない、もつとも人を食つたル大統領の事であるから六頭立でも十二頭立てでも手綱の捌きにぬかりはなからう、この曲藝でパンフレット、映畫、ラヂオ講演等あらゆる機會をとらへて活躍を續け資金も相當積立てゐるとの意圖も窺はれる、それにはスチムソン氏のやうに、がむしやらな馬車馬的存在も大いに役立つかも知れない

トピック解剖

血迷へる英國

土曜夕刊及び日曜朝刊は一齊にロンドンに於て日本の二大商事會社三井物產及び三菱商事の支店長が逮捕監禁せられたことを報じまたしても吾人の眼を驚目せしめたのである、その理由とする所を英政府當局に總くに仍ち「國家保安上の必要」によるものであつて決して東京に於けるスパイ嫌疑英人逮捕事件に對する報復手段では無い」と特に聲明してゐるが、この報復手段でない遣り方を以てロンドンにおける最有力日本人代表を監禁した英政府の心底といふものは到底われ〳〵日本人の常識を以てしては見當がつかぬ三井物產支店長田邊俊介氏は英既に十五年その夫人は英人であり夙に親英的ゼントルマンとして英人社會にも儒望高かい人である、三菱支店長植原覺氏はこれも滯英數年九年十一月以來ロンドンにあつて日英貿易に貢獻したる人物、何れより見ても英帝國の保安上不安を感ぜしむるが如き人物ならざるとは論ずるまでもない、この特に商業關係に於ける最有力日本人代表二人を監禁した點に、いかに人種的偏見に囚はれたる英帝國の一人として英人社會にも儒望高かい人である、三菱支店長植原覺氏はこれも滯英數年一九三七年一旦歸朝したが三

反獨の迷夢醒せ

米の參戰は絶對反對
策動家の口に乘るな
リンバーグ大佐頂門の一針

'Os E. E. U. não devem sonar parte na actual guerra'—Discurso do coronel Lindemberg

【シカゴ四日同盟】米國奈典の第一人者リンドバーグ大佐はシカゴに於ける米國參戰反對同盟大會に臨み、米國は將來「ドイツの支配下にある歐洲」を相手として交渉する必要に當面するであらうと警告、米國内に漲る反獨熱に對し頂門の一針たらしめた、演說要旨左の通り

米國を戰爭に捲き込まんとして大宣となつてゐるものはいまなほ米國のうちにも外にもある、われ〳〵はかゝる策動家に對し常に警戒を怠つはならない、歐洲、米國何れも他の反對を無視して全世界の警官となり得る程强力ではない、今日までわれ〳〵は英國支配下の歐洲に對し慮して來た、しかし今後はドイツの支配する歐洲に對慮せねばならぬことゝならう

鳥人の叫びに渦紋
米上院議員反對演說を發表

【ワシントン四日同盟】リンドバーグ大佐のシカゴ演說は政界に異常な渦紋をまきおこしてゐるが、民主黨全國委員會は四日リューカス上院議員をして明五日リンドバーグ大佐に對する對抗演說をなさしむるに決した旨發表した

米國民には釣合ぬ
徵兵制に反對の聲
議會通過も望み薄

【ワシントン三日H】米國に於けるベック・ウッドワース氏の徵兵制度施行案は國内各方面から反對の聲が高い、右案は今週議會に上程討議されるものと見られるが、既に上下兩院各議員は民間各層から徵兵制施行反對、議會に於ける同案否決請願の書面に接してゐる、右案に對しルーズベルト大統領は國防强化の要素として徵兵制度には絶對贊成だと述べてゐるが、上下兩院兵制度は未だ不必要だ、現在のところ義勇兵應募者は少いが從來の除隊年限三年を一年に改め、二十一ドルの月給を三十ドルに引上げれば義勇兵制度は未だ考慮の余地があるとの言に反對の空氣濃厚である、なほ現國軍總司令官マーシャル將軍は義勇兵制度續行の失敗は明だから今後は徵兵制度とすることが必要だと述べてゐる、何れにしても今週議會に上程され採否が決定されることになるが、上院には反對ブロックの結成もあり議會通過は困難と見られてゐる

七月中獨軍戰果
擊沈七五萬トン

【ベルリン三日UP】ドイツ軍當局發表によれば七月中ドイツ空海軍によつて擊沈された英國艦船は七五四、〇〇〇噸に上り、内潜水艦による擊沈が四六九、〇〇〇噸、空軍によるものが二八五、〇〇〇噸である、なほこの他に不確實擊沈が四〇五、〇〇〇噸と算せられてゐる、更に二日より三日に亘る廿四時間内に一獨潜水艦は三隻のタンカー、五六、〇〇〇噸を含む七隻の英艦船一一七、〇〇〇噸を擊沈してゐる、これに對し英國側はドイツ側の發表は誇大に擊沈實數を倍加して報道したものとし左の如く報じてゐる

ドイツ軍の七月中英艦船擊沈實數は二八五、〇〇〇噸で内商船が二六〇、〇〇〇噸、軍艦二五、〇〇〇噸である、擊沈された軍艦は一萬噸級巡洋艦一、七千噸假裝巡洋艦二、千五〇〇〇噸潜水艦三、二、〇〇〇噸砲艦三、一、八〇〇噸

張切る泰國の軍備
異彩 日本製飛行機や軍艦

【バンコック發】佛國降伏のビツダヌユースは日本、滿洲とともに東亞の獨立を計る新興泰國にも大きな反響を呼んでゐる、世界の戰雲を前に一層の緊張を見せてゐるのは、新興泰國の軍備だ、殊に空軍には大なる關心をもち、プラペティアン空軍司令の下に六台の爆擊機と二百台と稱せられる戰鬪機があり、去月廿四日の記念日には航空ページエントが催ふされ非常な人氣を呼んだ

陸軍は三万、陸海空を統轄する首相兼國防大臣のルアン・ピブン氏が國家意識を强めるため佛教で精神教育に力を入れてゐる、海軍は以前は將校もデンマーク人であつたが今はルアン海軍部長の下に威容を備へ、砲艦、潜水艦、練習艦等は日本が建造した十二隻のほかイタリー製のものもあつて泰國海軍は今後ますく〳〵充實されんとしてゐる

泰國政府の各椅子には外人顧問を置かず、ピブン首相が陣頭に立つて强力な泰軍の建設に邁進してゐる、日本製の水上機六臺が空軍に異彩を放つてゐる

青年教育にも新味を見せコアティオンといふ泰國の將來を擔ふ男女青年團がドイツ歸りのプラユン大佐を團長にヒツトラーユーゲント式に組織されてゐる、泰國が山田長政の祠に建立した赤い鳥居が日本で建造した驅逐艦の雄姿と共にメナム河の水に映じて日本とつながる長い友好の歴史と近代國家泰の前進を無言に物語つてゐる

毒蛇と闘ふの記（四）
咬まれたら三十分で絶命

火喰鳥は

たが、野生のものには一層の好奇心が出た、しかし、土人の持ち歸つたものは、何と無殘にもやつ裂きにしたものであまり重いので三人で持ち歸つて來た、この鳥の肉は、とても硬いが、パプアにはこのうへもない御馳走であるらしい、たゞし肝臓のフライは、美味であつた、夜に入ると持參のベッドが、組み立てられ白い金巾の蚊帳が吊られた、この蚊帳は蚊を除けるためでは見ない動物園ではなく、夜分の濕氣を防ぐのが目的なのだ、私はこの不思議なベッドに入り、ニューギニヤの山奥で最初の夢を結ばんとしたが、寢つきがわるく轉々した、寢られぬのは私一人のみではないらしい、考へて見ると、今日この宿泊地に到着して飲んだコーヒ、あまり喉が乾いてゐたので、大きな茶碗で二杯もお代りしたその祟りであることを知つた、翌日の行程は、山はさらに深くなり、丘陵地帶の底地を進むと、密林下の道は太陽の光線が當らぬため乾くことのない泥土のぬかるみが、長くつゞいた、そのうへわれらを惱ましたものは、山蛭であつた

山蛭は太さはマッチの軸木から、細いのは針のやうに細く三、四分の長さのものもあり靴の隙間から靴下を通つて這ひ上り、樹上のものは、肩に落ち、襟から體のなかに進んだ、睡眠不足と、かなり長い間の密林の難行路で疲勞した、ナピレ川の厳々した川の岸に出て、涼を入れ、清い水を手で掬ひながら飲んだ時は蘇生の思ひをした、三日目は、さらに山奥になつた、蛭は少くなつたが、赤虫にやられた一種の蕊虫である

毛穴から

食ひ入り、血を吸ふ、夜、床に入つてから壺の著しく大きな球形のものが目につく、パプアはこれで水を汲み、コップの代用にしたいたあとが化膿する、いまはじめて毒蛇に遭つた、ニューギニヤの毒蛇は有名でもあるので、一行は緊張した、半分腐朽した丸太が、坂道を上立つたやうに並び、その頂きは天蓋のごとく閉鎖してゐるこの天蓋をつくる枝には、着生植物が隙間もなく繁り、赤道直下に近い太陽の强い光線も、青い森のなかに射入した光芒に過ぎない、この森林を形成する樹木の多くは、アカネサウ科、ムクロジ科、ダイゲキ科、アノナ科、ニクヅク科など多いが、その種類は全然日本の領土にはないものばかりであつた、海拔が高くなるにつれ、道は險しくなり、植物も平地のものと全然變つて來た、地質も蛇紋岩や閃綠岩が多くなり、熱帶特有のラテライトを出現して來た、ウツボカヅラといふ食蟲植物をも私の眼ひをした、蛭は少私どもの進んでゐる森林は、いはゆる熱帶降雨森林に屬するもの、眞直な樹幹が柱でも立てたやうに並び、その頂きは天蓋のごとく閉鎖してゐる

毒蛇がゐる

た、土人は恐ろしがるだけあつて見付けるのも早い、私はドレドレどこだと探したのち、漸く見付けた、すぐ寫眞のレンズを向けたが、する〳〵と丸太の下にかくれかける、逃がしてはならぬと私は持つてゐた採集棒で叩いた、蛇は體に一撃を食つたが、まだ鎌首を上げるので、さらに二、三回擊つた、私は蛇が全く死んだのを確認したので、一本の小さい樹の棒を切り、地面に置いたのちこの殺した蛇の尾をつかまへて、棒に沿うて體をならべてゐた、この附近で、一行はこの光景を、遠くから見てゐた、この光景を、遠くから見てゐた苦力の土人たちは云つても驚いたらしい、私の同行者の一人が「先生！土人を御覽なさい、あんなに恐ろしがつてゐますよ」と告げる、しかし、どんな毒蛇といへども、死んだら害はないはずだ、私は棒から降りて、肩に擔いで山を進んだ、蛇はその白い腹を出し、奇妙にもその尾は、腹の部分から急に細く、スポイトのやうな形をしてゐる、私はポケットから麻紐を取り出し、棒と蛇とを一しよに二、三個所で括り、肩に擔いで山を進んだ、パプア土人は恐ろしがつて、私を避けて近よつて來ない、この毒蛇の咬傷は、痛みを伴はず、三十分くらゐで落命するその毒素の研究は興味あるも問題であらう、海拔が高くなるにつれ、氣温も下り、涼しくなつた、川の水も冷たく澄んで來た

西南

獨乙TO東京電によると東朝、東日兩紙は樞軸外交强化を强調▼また白鳥大使は近衛首相に松岡外相自ら伯林、羅馬へ乘出しと、ム兩御大とぢかに話を付けると進言したといふ▼もしこれが實現すれば日本としてもまさに劃期的のことだが、松岡外相ならまこと適り役と申せ大向ふの喝采が予想されどうやら實現しさうな氣がする▼小磯大將はもうまるで蘭印は日本のものみたいな恐しく威勢のいゝタンカを切つて蘭印がうとしてゐる氣配充分でありまして蘭印の一環であり、それがため現狀維持更改も或いは已むなしと言明してゐるが▲痛快といへば痛快近衛内閣登場以來英米など眼中にない氣持が段々强くなつて來たことは何としても爭へず▲思へば歐米論者や自由主義者などは空恐しいような軍態となつて來たが▲英米は果してこれに對してどう出るか見物だ、日本が英米を相手とせず獨自の立場でどし〳〵事を處したら結局英米共手も足も出せずに終るのではないか▲たゞ最近の英國の樣子がスパイ事件報復などでも判るように少々破れかぶれで、どうやら米國をつゝき出して日本と掛け合終には米を戰爭に捲込み日獨伊を向ふに廻して一芝居打たうとしてゐる氣配充分でありまして▼少くともそうなればと希望してることは先づ間違ひないから、これは警戒の要があら

祝發刊
コンドル寫眞館
吉村則義
隨時出張致します
パ延長線ツバン町

祝發刊
内外雜貨商
大田商店
大田政明
ガルサ驛　電話一三五
郵函二三二

Akaki & Cia.
COMMISSÕES CONSIGNAÇÕES E CONTA PROPRIA
Rua Santa Rosa, 478 — S. Paulo
農產物賣買
委託販賣
赤木商會
電話　二一—九〇八一番
郵函　二八九七番

養鷄研究生を求む
十八歳以上の青年　二名
立體孵化、育雛、初生雛雌雄鑑別
成鷄管理、その他養鷄一般
コチア產業組合指定
KTK協會孵化場
申込はコチア產業組合販賣部常深まで
書信は H. Kodato a/c Coop. Agricola de Cotia
Rua Cardeal Arcoverde, 2589
Pinheiros - S. Paulo

貸店舗
最近竣工せる鐵筋コンクリート建築物中の店舗貸します、場所はルス驛の近く、左記へ
Rua General Couto Magalhães, 399
電車 9, 17 Praça Ramos Azevedo
自動車 5, 70, 71 Largo S. Bento

Dr. PLACIDO ROCHA
CLINICA EM GERAL E CIRURUGIÃO
ARAÇATUBA
祝發刊
内科、外科、婦人科
小兒科
電氣治療
ブラシド
ロッシヤ醫院
勝田正通
アラサツーバ市公園前
（ライヤ藥局隣）
電話　二二三
郵函　二〇八

祝發刊
秋永忠治
自宅
牧場
アラサツーバ市郵函二〇八
アニヤンガイ驛

祝發刊
會長　安瀨盛次
副會長　鈴木季造
常任幹事　佐藤由
會計　森部市藏
名譽顧問　多羅間鐵輔
顧問　佐藤次郎
バウルー管内
聯合日本人會

祝發刊
アラサツーバ
聯盟日本人會
奬學舍
アラサツーバ學園

祝發刊
アラサツーバ市
日本人會

PHARMACIA CENTRAL
ITINOSE UYE & CIA.
ARAÇATUBA
祝發刊
御藥の相談は中央藥局へ
△内外藥品　豊富格安
△調劑正確　叮嚀迅速
化粧品もいろ〳〵御座います　御出市の節はゼヒ御來店下さい
中央藥局
一ノ瀨・宇江共營
アラサツーバ市シネマ館前
郵函二〇八　電話一六六

祝發刊
田口實
牧場
自宅
ルツサンピーラ驛十三キロ
アラサツーバ市郵函二〇八

祝發刊
坂本覺
アラサツーバ驛ブラタ植民地
郵函　二〇八

祝發刊
ノロエステ線郵便取扱所
ガランタン驛（郵函　六四）　吉田音作
カフエランヂア驛　南部振藏
リンス驛　汎リンス青年會（郵函二〇三）
ゴヤンベー町　亀井商店
ゼツリーナ町　山下旅館
ガイサーラ驛（郵　函四七）　本田商店
プロミツソン驛　プロミツソン青年聯盟（郵函一四〇）　安田一郎
アベニヤンダーバ驛（郵函一四〇）　松永利雄
ペンナポリス驛（郵函一〇一）　久次商店
ビリグイ驛（郵函八五（アレグレ方面））　代田喜市
ビリグイ青年聯盟（ビリグイ市）（郵函四八）　中村旅館
同（ビラツキ町）　牧口孝雄
アラサツーバ驛聯日會（郵函三〇〇）　平井寫眞館
グアララペー驛（郵函二〇八、三〇〇）　吉井商店
ヴアルバライソ驛（郵函五九）　宮本乙己
ラビニア驛（郵函六—A）　吉瀨軍平
ミランドポリス驛（郵函一八）　高橋信四郎
アリアンサ移住地内（郵函二〇ア・ア・サ移住地）　米倉伊三郎
アリアンサ產業組合
ルツサンピーラ驛十三キロ前　大木商店
ブラ拓事務所
ガラサイ驛　チエテ移住地　チエテ產業組合
マツシヤード・デ・メーロ驛　ブラ拓事務所
バラナポリス驛　橋本旅館
グリセリオ驛（郵函二八）（ブラウーナ町）　熊谷旅館
福岡商店
青木旅館

聖州棉 空前の記錄

嬉しい豫想 一億七千五百萬キロ

品質も向上 世界の王座へあと一息

今季州棉は當初不順な天候に禍されたが、最近農村經濟協會の發表によれば二億七千五百万キロと予想せられ、前年の二億七千三百万キロに比し二百万キロの増加で空前の記錄を印するわけである。農村經濟協會では三月に最初の收穫予想を發表、二億八千五百万キロ乃至二億九千万キロの予想を下してゐたが例年より遲れ、その後旱天續きの天候に幾分の減少を見越され六月の第二回發表では二億七千万キロと訂正發表された、第二回發表以後再び天候は順調であつたゆめ二億八千万キロ以上の予想も立てられたが結局二億七千五百万キロが堅いところと見られるなほ今季サフラに就き棉花界の權威ガリバルヂ・ダングス氏はフォーリア記者に次の如く語つてゐる

今季州棉收穫は空前の高記錄を印するものと見られ、品質も前年度より著しく向上してゐる、纖維の長さ、强度共に今季棉は非常に優良で米棉に比し何等遜色は認められない、これにも少し技術的な改良と宣傳を加へれば世界棉花市場に於て米棉以上の値で買はれるようになるのも茲二、三年内のうちだ、最近世界の主要棉花市場は相變らず弱氣配を示してゐる、近着の情報によれば米國政府は茲二、三日内に來季米棉に對し新融資案を發表すると傳へられ同案は前年度融資案に比し棉業者により有利なものであると云はれる

生かすも殺すも 在留同胞の胸三寸 日本病院も之からだ

今までのいざこざも次第に解消「我等の日本病院」の經營も漸く軌道に乘つて來たが、折角軌道に乘つた「病院車」を驀進させるには在留邦人の愛は一層の聲援支援が望まれてゐる、聞けば寄附金の未納がまだ四百コント余りもあるといふが、この際これさえあれば、それを基本金としていよ〳〵活潑な行動に移ることも出來得るとのことであるが來る十月一日、日本では國勢調査が行はれるが、それに併行して在外邦人についても臨時調査を實施する事になつたので、聖市總領事館でも本年は紀元二千六百年に該當する意義ある調査であるので一人も洩れない樣にと準備を進めてゐる、なほ調査事項は次の通り

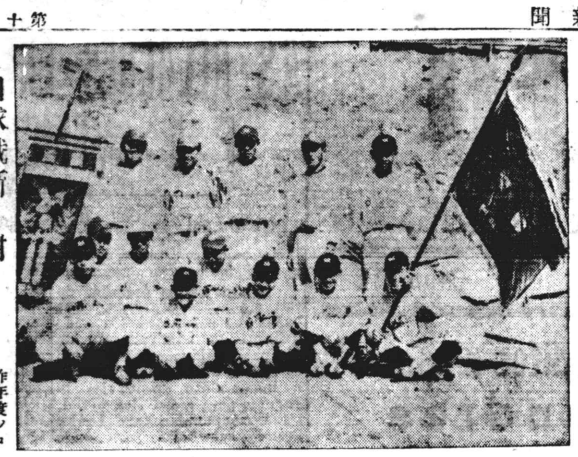
調査事項

一、氏名
二、世帶に於ける地位
三、男女別及配偶の有無
四、年齢（滿何年何月とし不明の場合は推定による事）
五、外國在留期間（何國何年何月と記入すること、旅行者「一時滯在者を含む」には其の旨記載せしむ）
六、職業
七、財産の程度
イ、不動産見積價額（見積概算に依り當該國貨幣を以て表示す）
ロ、動産
A、現金、預金及有價證券（額面貨幣を以て表示す）
B、其他動産の見積價額（見積概算に依り當該國貨幣を以て表示す）
八、教育の程度（未就學、小中、高等專門、大學夫々在學中、中退、卒業の別、中等程度の特殊學校及高等專門學校及大學にありては學科名を記入すること）
學
イ、理解不可能の程度
ロ、會話可能の程度
日本語
ハ、讀書き可能の程度
外國語
イ、會話可能
ロ、讀書き可能
外國語名

在伯邦人調査 二千六百年を記念に實施

機關として生れた日本病院を生かすも殺すも一つに在留民の胸三寸にあることだし、同胞の正義心にうつたへて心からなる支持支援を病院關係者は熱望してゐる

病院の圓滿なる發展は醫學を通じての日伯親善にも重大役割を持つもので、我等の名譽にかけてでも之を生かし、これが成長を望まぬ者はないだらう、我等の保健衛生の中樞



白球戰漸く酣！

ソロ線豫選十八日火蓋

昨年度ソロカバナ代表として嘶れの全伯大會に駒を進めたア・マッシャード軍は既報の如く奥ソロ大會に於て强敵アルゼンチンを降し、來る十八日は中ソロ代表サンタ・クルース・ド・リオ・パルドとソロ線代表の榮譽を爭ふことになり白球戰線は漸く酣となりつゝある（寫眞はア・マッシャード軍）

相次ぐ海運日本の新鋭

愛國丸には「移動展覽會」

大阪商船の優秀船報國丸、愛國丸、興國丸の三船のうち第一船報國丸は去る七月ブラジルへの處女航海に上つたが、第二船愛國丸も明春一月竣工の豫定で處女航海には「興亞日本」の物産を積んで世界を一周「移動博覽會」を開くといふ

この博覽會には主として機械類のみが陳列されるが、特にブラジルのために現地織機、工作機械、農具、モートル、農産工作機、自動車、トラクター、家庭用機具（ミシン、煽風器、電氣冷藏庫）建築用機、印刷機械、操縦機等を積込むことなつた由

なほ報國丸は總トン數一万五百トン、全長百八十メートル幅廿メートル、最高速力廿一ノット、旅客定員一等四十八名、特別三等四十八名、三等三百四名で、特別室「奈良」のほか特に診療室、病室、傷樂病室等も完備した豪華船である由

（寫眞は報國丸）

懷しい香り 茸が安く食膳へ

日伯農事協會試驗場で胞子の培養に成功

松茸を食べたいのだが、生まのものは勿論の事、罐詰でさへあんなべら棒な値段では手が出ない―と言ふ人々にこれは耳寄りな話

× ×

聖市郊外カシンギーにある日伯農事協會では昨年スザーノ在住の某氏が日本よりヒラ茸の胞子を試驗管に六本取寄せたその中から一本を譲り受け大事に菌の培養試驗を行つてゐたが、成績は至極良好で近く大量生産して邦人間に配給なほ同試驗場では胞子は試驗場的設備がないと一回で死滅してしまふので今後連續的に新しいものを育てゝ各希望者に分譲すべく努力を續けてゐる

一攫千金 黄金狂巷談

ビツショの番號を書き替へ 三百六十コント詐取を計る

ぬれてにあわと、ふけいきがるがくこがねのゆめ

「買ふも馬鹿、買はずはぬも馬鹿」れに對抗して賭ける方も最近弱さを狙つたビツショ屋の策はこのごろ大變なものである、景氣不景氣の波に拘らず市内各所に店は殖えるばかりそれだけに當つた金が拂へないようなインチキ・ビツショ屋が場末などに出て來る、これは一つの傀儡を恃む人間のはコスクなつてビツショ屋をゴマ化して金を取らうといふ凄いのがある、數日前も番號附を書き替へて金を受け取り百六十八コントをせしめようとした四人組があつたが、金を受け取る前に發覺して警察に行つたがビツショ屋側から支拂ひを拒絶されカミソリを出して大立廻りとなつた

國産タイヤの位置 まだ〳〵輸入品が壓倒的

ブラジルの自動車タイヤとチューブの輸入は一九三〇年來年一、〇〇〇千ドルの減少を見たが、この十年間に三万七千三百トンに上つてゐるが、一番多額に上つたのは一九三三年で少かつたのは前年の三二年だつたが、大休年間平均四千トン前後の輸入があると思へば間違いない、もちろんブラジル内にもタイヤ工場はあるが、一九三七年度の成績をみると全國の消費が四十七万五千本に對し内國製は漸く六万三千八百本で需要の一割五分位しか充たしてゐない、またチューブの方も同年度三十三万七千本中内國製は十万五千本に過ぎない、現在全國のゴム製品工場は四十三工場に上りその生産高は七万五千コントと推定されるが、その中リオ市だけで三十七工場を數へてゐる、その資本金は合計二万六千八百コント、職工二千七百名、使用動力四千四百馬力である、こゝに遺憾千万なのは大切な原料ゴムが伯國では年々減退することで、一九三七年一万八千四百トンのものが翌三八年には一万六千四百トンに減つてゐる

教會堂建設

文化植民地の記念事業

ソロ線パラグワー驛文化植民地では去る七月二十五日創立十五周年記念祭を催し記念事業として百コントスの豫算で教會堂を建設する事になり當日定礎式を擧行したが、聖堂の礎石の下にコンクリートの鑵柩を作り植民地建設の犧牲者の英靈が植民地守護神として永久に納められた、なほ午後より余興として植民者大運動會が催された

野替副領事 奥地へ

聖市總領館野替副領事は昨日午後ソロカバナ、パラナ、パウリスク延長線旅行へ約二週間の豫定で出發した

體協事務所開き

邦人體育協會では昨五日夜八時よりブラ

市況

（五日）

	買値	賣値
▼アロース		
グアーリヤ[上]	二五、〇〇〇	二六、〇〇〇
ブランコ[〃]	二四、〇〇〇	二五、〇〇〇
カテ[〃]	二三、〇〇〇	二四、〇〇〇
▼フェイジョン		
ムラチーニョ[上]	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇
同[中]	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇
▼ミーリョ	一六、八〇〇	一六、八〇〇
アマレーロ	一六、三〇〇	一六、四〇〇
アマレロン	ノミナル	
▼クリスタル		
▼バタタ	ノミナル	
アマレーラ[上]	一五、〇〇〇	二〇、〇〇〇
ブランコ[中]	ノミナル	
▼マンヂカ粉	三、八〇〇	三、〇〇〇
▼モーナ	六、五〇〇	六、〇〇〇
▼棉實	三、〇〇〇	三、一〇〇
アメリカ[上]	二四、八〇〇	二五、〇〇〇
▼セボーラ	—	—
▼砂糖		
レフィヤード[特上]	七、八〇〇	三、〇〇〇
[上]	六、八〇〇	六、〇〇〇
クリスタル	五、〇〇〇	六、〇〇〇
▼小麥粉	五、〇〇〇	五、〇〇〇
▼珈琲	—	—
▼棉花	三九、〇〇〇	四〇、〇〇〇

野菜部（蔬菜部調）

五日午後ソロカバナ、パラナ、パウリスク延長線旅行へ約二週間の豫定で出發した邦人體育協會では昨五日夜八時よりブラ

▼トマテ（箱）
▼レボーリョ（袋）
▼エルヴィリヤ（箱）
▼ピメントン（箱）
▼バージエン（箱）
▼ペピーノ（箱）
▼パタドーセ（俵）
▼ポブリーニヤ（箱）
▼セノーラ（束）
▼コーベフローレ
▼ナス（箱）
▼玉子（打）

長期豫想

◆…日伯農事協會試驗農場のお化け事件―去る六月末に生れた白色レグホンの中の一羽が三ケ月もならぬのにコツコツと見事なトキの聲をつげ物凄いお化け振りを發揮、いくら早熟の國でもこれはチト變んだと技手連も複雜怪奇な有樣にビツクリしてゐる

◆…日伯協會リオ支部主事小林進氏は宮腰支部長と事務打合せのため四日午後來聖、八日歸府の筈、同氏は九月のあるころも八丁手も御仁「彼ならロも八丁手も八丁」、或ひは英官憲からあらぬ疑ひをかけられたかも知れぬゾ」など〳〵スツカリこのデマを信用する人もあつた位だ

◆…ブラ拓の番地が變つた新番地は本部がブラツサ・ダ・セ三九九、銀行部は三九三

……

呈す、右賞金を得んと欲せば健康を損ふ事なく最大限のビールを痛飲、最高位を得ざるべからず

◆…パラナ州コロニヤ・アルボラーダにゐる開拓祖人水野龍翁は昨日本紙發刊の祝辭を寄せられた

◆…大阪商船ロンドン支店長神野亮二氏、スパイ嫌疑にて英官憲に逮捕さる！と昨日のこと眞としやかに傳へられたデマには聖市邦人も少なからず驚かされた、神野さんといへば商船ブラジル社員としてお馴染の御仁「彼ならロも八丁手も八丁」、或ひは英官憲からあらぬ疑ひをかけられたかも知れぬゾ」など〳〵スツカリこのデマを信用する人もあつた位だ

◆…ブラ拓の番地が變つた新番地は本部がブラツサ・ダ・セ三九九、銀行部は三九三

……

社告

左記の者在地方へ出張致させて居ります故御配慮の程お願申上げます

カフエランジア
リンス
ブロミツソン　中山貞夫
ベナボリス
ビリグネ

ブラ朝日新聞社

募集 大工さん

子守

赤星木工所
聖市コンデ・サルゼダス街七七
電話二―八三三四

募集

少年數名
滿十四歳以上十七歳迄
希望者は直接左記へ

日伯社

Off. de Chapeo Hinode
1007 聖市サンカエターノ街
宮野帽子洗濯所

募集（至急）
青年、三名
十六、七才の少年一名
御希望の方は左記へ

聖市アベニーダ・ポルベイア八三三
電話 五―七六八五

急募
職人及見習
各二名
チンツラリア
コンチネンタル

尋人廣告

左記の者の現住所承知致度に付本人又は御存知の向は當館迄御一報相成度し

記

福岡縣宗像郡河東村字地浦　高橋武八
滋賀縣神崎郡南五莊字川並　外村富三郎
福岡縣三潴郡城島町馬見塚　久富勇
愛知縣名古屋市東區千種町大字車田一八〇　野々宮信雄

昭和十五年七月三十一日
在サンパウロ
帝國總領事館
Cons. Geral do Japão
C. Postal, 1167
S. Paulo - Brasil

募集

金人四、五名
要保證人、詳細は左記へ

日伯社

ロツテ 賣

サント・アマロ道
カムポ・ベーロ
ピラクアラ
ブライ・ガスパール
所在
價格一平方米八ミル
照會は左記へ
ジヨン・ポヂー
ピラクアラ・ピラシカーバ街八七〇

Casa Rambaldi
本店
Rua Liberdade, 472 - Tel. 2-1424
支店
A Italo-Brasileira
Quint. Bocayuva 238 Tel. 2-7091
家具及絨毯
御支拂には便宜をはかります

在庫豐富
近日入荷引カケ式タイヤ各吋
自轉車並附屬
專業直輸
野村洋行
Rua Alameda Glette, 639 - S. Paulo
Tel. 5-7748
七球ラヂオ1:200$000 祖國の聲正確受信

越中富山
賣藥輸入
長森聖榮堂
聖市郵函四一二八
本店富山市堀端町
支店ハワイ・ホノルル、市郵函一二九九

事務員募集

中等學校卒業程度の學力を有し補語を能く解する方
希望者は履歴書御送附あり度し

聖市
カーザ東山
Rua Florencio de Abreu, 318, 322
Caixa Postal, 528 - São Paulo

急告

弊社りおでぢやねろ丸は都合に依り左記の通り
帆變更仕候間御諒承被下度候

サントス出帆　八月十八日
リオ出帆　八月二十日

八月五日

ブラジル大阪商船會社

BRASIL ASAHI
EX-NIPPAK SHIMBUN
Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno I — São Paulo — 3.a feira, 6 de Agosto de 1940 — Num. 11

O sr. Shôzo Murata distinguido com a "Gran Cruz da Ordem do Cruzeiro do Sul"

O intercambio nippo-brasileiro cada vez mais se estreita, mercê do esforço de um grupo de homens intelligentes, que em ambos os paizes procuram tornar mais intima as relações entre os dois povos.

Authentico pioneiro dessa politica de bôa vontade e construcção, o senador Shôzo Murata é um amigo verdadeiro do nosso paiz. No caracter de presidente de uma das mais importantes companhias de navegação do Imperio do Sol Nascente, a "Osaka Syôsen Kaisya", o sr. Shôzo Murata concorreu bastante para a actual lisonjeira situação em que estão as correntes economicas e culturaes do Japão e do Brasil. Fructo de sua visão acurada e profunda sympathia pela terra brasileira, ahi estão as linhas maritimas que nos approximam do oriente, pois o grande incremento da navegação nipponica para o Brasil se deve ao seu alto espirito de comprehensão, manifestado com o accrescimo constantes de paquetes luxuosos que, dos longinquos mares japonezes, vêm ter aos portos de nossa terra.

Recentemente, o senador Murata foi escolhido para as elevadas funcções de Ministro das

SR. SHOZO MURATA

Pastas das Communicações e das Estradas de Ferro de seu paiz, no gabinete constituido pelo principe Konoye, num premio ás suas altas qualidades na materia.

O governo brasileiro, tambem, na sua digna tarefa de distinguir e estimular os verdadeiros amigos do paiz, acaba de conferir a mais alta commenda honorifica do paiz ao eminente homem publico. Por decreto do dia 2 de Agosto, assignado na pasta das Relações Exteriores, o sr. Presidente Getulio Vargas concedeu, num acto justissimo, a "Gran Cruz da Ordem do Cruzeiro do Sul" ao senador Murata, significando-lhe a gratidão e a sympathia brasileira, pelo que de util tem produzido para o beneficio commum das duas Patrias.

Fundada uma empreza de controlle da Industria Siderurgica

Tokio, 29 (Dômei) — Foi realizada hoje, no salão "Tokio" a assembléa de fundação da nova "Empreza Nipponica de Controlle á Industria Siderurgica" com o capital de um milhão de yens, tendo sido, após a approvação dos estatutos, feita a eleição da primeira directoria. Foi escolhido para presidente, por maioria de votos, o sr. Shingo Nakamatsu, actual presidente da Federação Siderurgica Japoneza.

BRASIL ASAHI
Ex-Nippak Shimbun
DIRECTOR
José Yamashiro
Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 1109
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
SUCCURSAL:
Rua Irmã Simpliciana, 48
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil
Assignaturas
PARA O BRASIL
Por anno ..... 60$000
Por semestre ..... 30$000
PARA O EXTERIOR
Por anno ..... 120$000
Annuncios
Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha

A manutenção de paz em Tientsin

Tokio, 29 (Dômei) — O accordo relativo á manutenção da paz em Tientsin foi, finalmente, assignado, nesta capital, entre os srs. embaixador da França, Charles Arsene Henry e Hajime Matsumiya, vice-ministro interino do Exterior.

O referido accordo é identico ao que foi concluido entre o Japão e a Gran Bretanha sobre a questão da mesma localidade.

Festivamente recebido em Araçatuba o Dr. Adhemar de Barros

Noticias provenientes de Araçatuba, o progressivo centro do hinterland paulista, communicam-nos que o Dr. Adhemar de Barros, Interventor Federal no Estado de São Paulo, foi recebido com grandes demonstrações de sympathia pela população local. S. excia. que foi áquella localidade assistir aos festejos do segundo anniversario da gestão do prefeito Valladão Furquim inaugurou o grande estadio "Dr. Adhemar de Barros" e varios outros melhoramentos emprehendidos naquella cidade. Com o sr. Adhemar de Barros seguiu tambem o director da Directoria Geral de Esportes, tenente Sylvio Padilha, para honrar com a sua presença nas competições athleticas que tambem faziam parte dos festejos do biennio da gestão do actual prefeito.

Associação de apoio á nova ordem politica

Tokio, 28 (Dômei) — Os membros que ha dias retiraram-se do grande partido politico "Minseitô", pretendendo fundar uma associação de apoio á nova ordem politica, convocaram uma assembléa para lançar as bases da nova organização. Na reunião que foi realizada no salão Matsumoto do parque Hibiya, procedeu-se a eleição da directoria e os presentes declararam cooperar com o Governo no estabelecimento da nova ordem politica nacional.

O PRESIDENTE DE HONRA DO 5.º CAMPEONATO INTER-COLONIAL DE BASE-BALL

Noticia-se que o tenente Sylvio de Magalhães Padilha, chefe da Directoria Geral de Esportes do Estado de São Paulo acceitou o convite para ser o presidente de honra do campeonato inter-colonial de Base-ball, promovido pelo Club Athletico Colonial e patrocinado pela nossa folha.

Esse campeonato que será muito concorrido como nos annos anteriores, será realizado nos primeiros dias do proximo mez de Setembro.

A prisão de subditos nipponicos em Londres

Londres, 3 (Dômei) — "O embaixador do Japão em Londres esteve no Ministerio das Relações Exteriores pouco antes das 13 horas, afim de saber das auctoridades britannicas os motivos da detenção dos dois subditos japonezes, srs. Mikihara e Tanabe.

Por outro lado, a embaixada nipponica informa que tanto o sr. Mikihara como o sr. Tanabe estão na Inglaterra ha longos annos e se tornaram conhecidos pelo seu grande interesse por uma solida e duradoura amizade e um maior desenvolvimento commercial anglo-nipponico. São, aliás, da mais alta integridade moral, possuindo grande numero de amigos na Gran Bretanha.

Os circulos nipponicos de Londres se mostram profundamente apprehensivos pelas possiveis repercussões da medida ingleza, neste momento em que são delicadissimas as relações entre Londres e Tokio. Os circulos japonezes de Londres não demonstram desejo algum de aggravar a situação, mas esta parece demasiadamente grave".

Londres, 3 (Dômei) — A impressão causada pela prisão de dois subditos japonezes fez esquecer por momentos as consequencias do bombardeio nocturno inimigo.

Apesar de não se conhecer ainda a opinião official do Ministerio de Extrangeiros, annuncia-se que os amigos dos dois japonezes presos insistem em accentuar sua anglophilia.

Quanto ao sr. Tanabe as autoridades apuraram que regressou á Inglaterra ha cerca de dois mezes depois de uma ausencia de 15 annos, fazendo-se acompanhar por sua esposa que é de origem ingleza. O sr. Mikihara partiu para Tokio em 1937 em viagem de negocios e só regressou a Londres em Novembro de 1939.

O embaixador nipponico procura avistar-se com Lord Halifax

Nova York, 3 (Dômei) — A embaixada japoneza de Londres informa ter sido preso, sem explicação de motivos, o negociante japonez que se encontra ha mezes na capital ingleza. Egualmente sabe-se que numerosas prisões de personalidades japonezas foram effectuadas em Singapura.

O embaixador japonez solicitou immediata audiencia ao ministro do Exterior lord Halifax para conhecer os motivos das referidas detenções.

Nos meios nipponicos de Londres vê-se a medida ingleza como represalia pelas recentes prisões de elementos britannicos no Japão, por actividades de espionagem.

A embaixada japoneza protestará

Tokio, 3 (Dômei) — Communica-se officialmente que a embaixada japoneza em Londres protestará energicamente no Ministerio Britannico contra a prisão dos directores dos escriptorios das companhias Mitsui e Mitsubishi em Londres.

Declaração do general Nishihara que esteve na Indo-China Franceza

Tokio, 30 (Dômei) — O general Nishihara, desembarcou hoje, ás 15,5 horas no aerodromo Haneda, desta capital, proveniente da Indo-China, Franceza, onde esteve em missão especial, para impedir a introdução de material bellico destinado ao general Chang, de cuja incumbencia obteve exito.

Logo após a sua chegada a Tokio, elle dirigiu-se de automovel ao Quartel General, afim de notificar o seu regresso e fez a seguinte declaração:

O novo Governador daquella possessão franceza, com o qual já havia estado em Genebra, administra de maneira muito satisfactoria.

O nosso corpo de inspecção da linha de frente, acha-se em actividades sob o calor excessivo e hostil da região, cooperando com o Governo, que tomou uma attitude louvavel, expulsando os chinezes, que pretendiam burlar a vigilancia dos nossos inspectores.

Quanto aos nativos de Hanoi, elles mostram sympathicos aos japonezes.

O material introduzido por aquella região, os principaes eram caminhões e grande quantidade de gazolina, que foram totalmente interceptados".

O noticiario telegraphico publicado pelo "BRASIL ASAHI" é fornecido pela Agencia Dômei, japoneza.

AS RELAÇÕES ENTRE O JAPÃO E A AMERICA LATINA

(Conclusão)

IKURO ATSUMI

Passando a estudar, agora, as facilidades de communicação entre os paizes da America do Sul, e o Japão, observamos que todos os serviços directos estão debaixo da administração de companhias japonezas. Durante os trinta e tantos annos, desde a inauguração do serviço de vapores para a America do Sul, estas companhias têm feito grandes sacrificios para augmentar a efficiencia de seus navios e melhorar o seu serviço, e têm contribuido em grande parte para o estreitamento das relações entre os paizes sul-americanos e o Japão, transportando passageiros e cargas apreços que são muito reduzidos se se levar em conta o numero de dias que são gastos na travessia. A companhia de navegação Osaka Shôsen Kaisha tem feito muito neste sentido, desde o inicio do intercambio com a America do Sul, e o recente lançamento dos mais novos de seus navios para este serviço será um accrescimo mais, de grande significado, para o estreitamento das relações de amizade que unem ao Japão os paizes sul-americanos, apesar da distancia geographica que os separa.

Além disso, os conhecimentos que se têm na America do Sul e no Japão a respeito das condições que regem uma e outra parte são rudimentares, não obstante a circumstancia já conhecida do estreitamento continuo que se tem observado nas relações commerciaes e amistosas. E comquanto a comprehensão mutua das condições politicas, economicas e culturaes das nações seja indispensavel para promover as relações amistosas, creio ser conveniente que se intensifique o intercambio de informações sobre esses themas e se fomente o movimento de turistas e de missões entre as duas partes. Neste particular, espero que venha muito mais gente dos paizes sul-americanos ao Japão, para apreciar de perto as verdadeiras condições desta nação.

N. da R. — Dentre os innumeros titulos de que sabemos ser possuidor Ikuro Atsumi, auctor do trabalho que hoje terminamos de publicar, citamos os seguintes: consul honorario do Japão na Argentina, gerente da filial de Tokio da companhia Osaka Shôsen, membro do Conselho Fiscal do "Edificio Osaka", e da Companhia Kaigai Kôgyô Kabushiki Kaisha e tambem da "S. A. Sakane Eiseidô".

Casa Anglo-Brasileira
SUCCURSAL DE MAPPIN STORES

一週前より
開始中の
恒例
大賣出し
は
全聖市話題の
中心となつてゐます
全階に亘つて優秀な品を陳列、しかも
御値段は破格
O MAN da cidade

純麻フロンニア…手藝模様付、大さ0,35×0.50 ……18$500の分…… 25$300
極上英國製毛布…色は高雅
1,50×2.00 170$000の分……138$000
2,00×2 60 275$000の分……218$000
リンニヨ・グラニテ…白色優良品、巾0.70 —米 25$000の分…… 12$000
トアリア 入浴用、厚く柔い長もちのする極上品
0,90×1,50 …… 11$700
1,10×1,70 …… 21$800
手工模様入コツプ……6$000の分…… 3$500
9$000の分…… 5$000
磁器トラベツサ…… 20$000の分…… 14$000
磁器プラート……5$000の分…… 3$500
男子用カミーザ(米國製)……36$000
ポプリン・ピジアマ(縞模様入)…… 48$000の分…… 42$000
プローヴエル(小供用毛製)… 28$000の分…… 18$000
モルレイ製純毛靴下…… 23$000の分…… 14$000
ベベ用ゴム製カルサ(米國製) ……5$000

××××××××××
御買物はこの機會に

祝發刊
内外雜貨
食料品
長谷川商店
ソロカバナ線レゼンテ・フエイジョ驛
アニューマス 郵函二五

祝發刊
内外雜貨
農産物仲買
小林好平
ソロカバナ線ビケロビー驛